

会計名			加藤与五郎没後50年記念事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化振興係	
10	6	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	名誉市民である加藤与五郎博士の記念事業を開催することで、市民が科学に親しむ機会を提供する。		主たる内容	○講演会及びパネルディスカッションの開催 テーマ 世界が変わる博士の発明 開催日 平成29年11月5日（日） 会場 産業振興センター				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成29年度 ~ 平成29年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
						・講演会及びパネルディスカッションの開催			
成果		白川英樹博士（2000年ノーベル化学賞受賞）による講演会を開催し、多くの児童生徒及び市民に科学の楽しさを伝えることができた。							
課題		参加申込者が予定より多く集まり急遽サブ会場を開設したことから、今後同様のイベントを開催する場合は募集する人数及び広報の手段を精査する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
成果指標		来場者数（人）			—	—	420	—	—
指標									
他市との比較検証		近隣市において、加藤与五郎博士を記念した事業は開催されていない。							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	289	0	合計	289,040 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	257,040 円	
		一般財源	0	0	289	0	使用料及び賃借料	32,000 円	
	職員人件費 ②		0	0	3,490	0			
	総事業費（①+②）		0	0	3,779	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			加藤与五郎没後50年記念事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	6	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民が科学に親しむとともに、郷土の偉人について知る機会を提供することができた。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	蔵前工業会と共催することで、コストを削減するとともに、講師の人選や連絡調整等を効率よく進めることができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	広く市民に情報を提供し募集できるため、市が主体となって実施することは重要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	市民が科学に親しむとともに、郷土の偉人の業績について知る機会を提供できたため、施策へ貢献している。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
記念事業として開催したため、今年度のみ開催予定である。					

会計名 一般会計			文化協会育成事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	1					担当係	文化振興係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	活動の支援体制の充実						
	目的	様々な文化創造活動を行う市民が所属する刈谷文化協会を支援し、文化創造活動への市民の積極的な参加を促す。				主たる内容	○刈谷文化協会の事業及び運営に対する補助 ○「わたしの刈谷展」入賞者の表彰		
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	刈谷文化協会			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・刈谷文化協会への団体補助 ・「わたしの刈谷展」受賞作品の報償金授与 ・県文連西三河部芸能大会への事業補助		・刈谷文化協会への団体補助 ・「わたしの刈谷展」受賞作品の報償金授与		・刈谷文化協会への団体補助 ・「わたしの刈谷展」受賞作品の報償金授与		※文化芸術団体育成事業に移行	
成果		多くの市民が参加する市民文化祭の開催を支援したことにより、市民が文化芸術に触れる機会を広く提供することができた。							
課題		会員の高齢化及び会員数の減少が顕著であり、若年層の会員を獲得していく必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標	刈谷文化協会が市民に文化芸術へ触れる機会を提供した回数（回）			—	15	13	13	—	
成果指標	日頃から文化や芸術に親しんでいる市民の割合（％）			—	44.9	—	49.0	—	
他市との比較検証	・安城市 補助金額 1,700,000円 ・岡崎市 補助金額 1,800,000円 ・碧南市 補助金額 1,755,000円 ・刈谷市 補助金額 1,950,000円								
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		6,982	2,150	2,150	0	合計 2,150,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費 200,000 円		
		一般財源	6,982	2,150	2,150	0	負担金、補助及び交付金 1,950,000 円		
	職員人件費 ②		705	860	775	0			
	総事業費（①+②）		7,687	3,010	2,925	0			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
	29年度までの累積事業費		0						
	31年度以降の事業費見込		0						

会計名			文化協会育成事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
10	6	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	様々な文化創造活動を行う市民が所属する刈谷文化協会を支援することは、本市の文化振興を図るためには必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	文化振興指導員が事務局を取りまとめており、事業運営や経理など、適正に行われている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	文化活動団体の取りまとめ窓口となる文化協会を支援することは妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	市民文化祭の開催を支援するほか、市民が積極的に文化創造活動に関わる機会を設け、本市の文化振興に寄与することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後も活発な活動を継続するため、新規会員の獲得に向けた方策を支援する必要がある。					

会計名 一般会計		全国アマチュアオーケストラフェスティバル開催事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	1					担当係	文化振興係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	活動の支援体制の充実						
	目的	全国規模のオーケストラフェスティバルの開催を支援することで、「音楽のあるまちかりや」としてのまちづくりに寄与する。	主たる内容	○第45回全国アマチュアオーケストラフェスティバル刈谷大会の開催 開催日 平成29年7月28日（金）～30日（日） 会場 総合文化センター					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成29年度～平成29年度			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		—		—		・オーケストラフェスティバルの開催		—	
成果		全国レベルの文化芸術を体験する機会を提供したことで、来場された市民の教養を高めることができた。							
課題		入場者数が想定より下回ったため、今後、同様のイベントを開催する場合は、周知方法等を検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
成果指標	来場者数（人）			—	—	632	—	—	
指標									
他市との比較検証	本市レベルの地方都市でのフェスティバル開催事例はない。								
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	1,300	0	合計 1,300,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 1,300,000 円		
		一般財源	0	0	1,300	0			
	職員人件費 ②		0	0	3,490	0			
	総事業費（①+②）		0	0	4,790	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			全国アマチュアオーケストラフェスティバル開催事業	担当部	市民活動部
款	項	目		担当課	文化観光課
10	6	1		担当係	文化振興係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	市民に全国レベルの文化芸術に触れる機会を提供し、文化芸術における教養を高めることができた。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		低い	会場費相当額を開催市負担金として支払っているが、入場者数が期待を下回ったため、費用対効果及び効率性が高いとは言えない。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民が気軽に音楽に触れる機会をつくることができたため、市が主体となって実施することは意味がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	刈谷市文化振興基本計画にある「音楽のあるまち かりや」を実現するための1つの手段となるため、このようなイベントは施策への貢献度は高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今年度だけの開催であるため、今後の開催は未定である。					

会計名 一般会計			歴史博物館建設事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	14					担当係	文化財係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史博物館の整備						
	目的	歴史、考古、民俗等に関する資料を収集し、貴重な文化的遺産の散逸を防ぎ、後世に残すとともに広く一般公開し、歴史研究の一助とする。			主たる内容	本市の歴史資料や文化財を適切に保存・管理し、展示・活用することができるよう歴史博物館を整備する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画						
		根拠法令	博物館法、公文書館法、文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成22年度～平成30年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		—		<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事 ・工事監理 		<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事 ・工事監理 ・展示・収蔵庫設置 		<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事 ・工事監理 ・展示・収蔵庫設置 ・植栽工事 ・外構工事 	
成果		<ul style="list-style-type: none"> ・建物工事を進めた。 ・有識者、関係団体へのヒアリングを適宜実施した。 ・施工業者、工事監理業者、市による定例会議を毎週または隔週で実施した。 							
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・文化庁や関係団体等へのヒアリング結果を反映させるための庁内の意思決定や施工業者への周知に時間を要した。 ・各種工事や委託業務が同時進行していく中で、調整が難しいことがあった。 							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
成果指標		建設工事進捗率（％）			—	1.9	70.0	100.0	—
活動指標									
他市との比較検証		<ul style="list-style-type: none"> ・県内の公開承認施設 7館 ・県内の登録博物館数 33館 							
C 事業 コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費①		0	55,682	1,356,538	1,111,853	合計 1,356,537,880円		
	財源	特定財源	0	45,041	1,259,003	598,000	委託料 20,995,200円		
		一般財源	0	10,641	97,535	513,853	工事請負費 1,334,051,600円 負担金、補助及び交付金 1,491,080円		
	職員人件費②		0	1,329	8,142	468			
	総事業費（①+②）		0	57,011	1,364,680	1,112,321			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		2,524,073		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		1,412,220		社会資本整備総合交付金 亀城公園等整備基金繰入金 歴史博物館建設事業債					
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			歴史博物館建設事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化財係
10	6	14			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	現在の郷土資料館は文化財の保存・展示施設としては規模・設備的に不十分であり建設の必要がある。公文書館・展示・埋蔵文化財センター・祭り会館の各機能を一体にした施設とすることで、資料保存と市内外への公開を両立させることができる。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	建物実施設計・展示実施設計は、競争入札で設計業者を選定することで、コストを節減しつつ最適な業者を選定することができた。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	市民の財産である文化財を多数保存する施設であることから、市が主体となるべき事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	市民が気軽に立ち寄れる歴史博物館を設計することで、郷土の歴史文化への興味を喚起することができる。また、公開承認施設を目指すことで、国宝や重要文化財を見学出来る機会を増やし、市民の歴史に対する関心に応えることができる。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き利便性・機能性・コストに配慮した建物を目指す。（平成30年度開館予定） より魅力ある博物館とするため、開館後の事業を具体化する。 					

会計名 一般会計			国指定文化財保護増殖事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	2					担当係	文化財係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	○保存対策調査委員会において植生調査・保護対策を行う。 ○調査委員会の指導に基づき、小堤西池の水質水位の継続した調査を行う。 ○カキツバタ保護増殖のために池や東側丘陵地の除草や清掃等の業務を行う。 ○カキツバタ開花期における、警備や駐車場案内等の業務を行う。			
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	国指定天然記念物である小堤西池カキツバタ群落の保護増殖を図るため、調査を含めた各種保護対策を実施し、植生を適切な状態に保つ。			実施方法 ■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 ■その他					
	位置づけ	関連計画	小堤西池カキツバタ群落保存管理計画							
		根拠法令	文化財保護法							
		対象者	対象者を限定せず	事業期間		～				
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 ■その他							
	BDO 事業実績 計画 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・保存対策調査委員会開催 2回 ・水質調査 月1回 ・水位調査 月1回程度 ・除草、清掃作業 6日間 ・ナラ枯れ被害木等処理 被害木伐採 15本		・保存対策調査委員会開催 2回 ・水質調査 月1回 ・水位調査 月1回程度 ・除草、清掃作業 6日間 ・ナラ枯れ被害木等処理 被害木伐採 16本 ・カキツバタ遺伝子調査		・「小堤西池カキツバタ群落保存管理計画」の改定 ・保存対策調査委員会開催 2回 ・「湿地サミット」の開催 ・水質調査 月1回 ・水位調査 月1回程度 ・除草、清掃作業 6日間 ・ナラ枯れ被害木等処理 被害木伐採 17本		・保存対策調査委員会開催 2回 ・水質調査 月1回 ・水位調査 月1回程度 ・除草、清掃作業 6日間		
成果		・東側丘陵地のナラ枯れ被害木を伐採し、ナラ枯れが見られなくなり、水源としての機能を回復した。 ・除草作業には地元「小堤西池のカキツバタを守る会」のほか、企業ボランティアをはじめ多くの市民が参加した。 ・カキツバタ開花期には、以前に比べ開花エリアに広がりが出て、花の数も増えてきたと来場者より評価を得た。								
課題		・池の水源となる東側丘陵地に、その地下水を吸い上げてしまう竹が増殖しているため、東側丘陵地をどう管理していくかが課題となっている。 ・地球温暖化などの影響により、池及び東側丘陵地の環境が変化しつつあり、動植物の種類が減少しつつある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
活動指標		ボランティア参加数（人）		209	192	263	270	270		
成果指標		見学者数（人）		7,628	8,638	9,998	10,000	10,000		
他市との比較検証		・知立市の八橋のかきつばたは生育不良に陥っており、再生している最中である。 ・豊橋市「葦毛湿原」保存会ボランティア参加数（平成29年 延べ691人 冬季25日間程度）								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		6,527	5,934	7,817	7,657	合計	7,817,299 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	227,060 円		
		一般財源	6,527	5,934	7,817	7,657	需用費	751,098 円		
	職員人件費 ②		2,507	1,876	2,792	1,482	委託料	6,813,061 円		
	総事業費（①+②）		9,034	7,810	10,609	9,139	使用料及び賃借料	26,080 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			国指定文化財保護増殖事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化財係
10	6	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	文化財保護法において、国指定天然記念物の保護は法的業務である。 また、カキツバタは刈谷市の花で市民にも馴染みが深いことから、保護増殖を図る必要がある。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	地元有志による守る会に日常管理を委託する体制を取っており、直営で実施するよりもコストが節減でき、継続的かつ効果的な保護活動が可能である。市民協働の点からも手段は最適である。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	国指定の文化財であるので、国、県との調整が必要であるとともに、調査委員会、守る会との連携も必要であるため、市が主体となって実施すべき事業である。また総合計画でも、カキツバタ群落の保存を掲げており、本事業の実施は妥当である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	普通	開花時期にはメディアにも取り上げられ、市の魅力向上に繋がっている。また、地元の守る会をはじめとする市民の保護への意識も向上している。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> 保存対策調査委員会による調査・研究の成果をカキツバタ群落の保護施策に反映するとともに、地域住民によって組織される守る会及びボランティアと一体となって保護事業を継続する。 より多くの人に国指定天然記念物を見学していただくとともに、環境保護活動の意識向上が図れるよう、豊富な自然環境が維持されていることの啓発を今後も推進する。 池の水源確保や外来種の増加に対しては、保存対策調査委員会や守る会と対策を協議していく。 					

会計名			依佐美送信所記念館ガイド事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	6	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市内外の来館者に依佐美送信所の歴史と展示機器の機能や構造を学ぶ機会を提供し、無線通信への親しみと理解を深め、貴重な産業遺産としての価値を後世に伝える。			主たる内容	○館内ガイド業務の実施 ○機器説明等			
	位置づけ	関連計画 刈谷市文化振興基本計画							
	根拠法令								
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成20年度～			
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・入館者数 37,924人 ・ボランティアガイド 132件 3,112人		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・入館者数 39,159人 ・ボランティアガイド 123件 2,594人		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・入館者数 31,930人 ・ボランティアガイド 114件 1,917人		・ガイドボランティアによる館内ガイドの実施 ・入館者数 約30,000人 ・ボランティアガイド 120件 2,000人	
成果		・記念館には無線通信に詳しい方もそうでない方も来館されるが、ガイドがあることでそのどちらにも対応することができ好評価を得ており、テレビ、広報紙等の取材にも対応した。 ・県外からは、ツアー客を含め多くの来館者を集め、刈谷の魅力のアピールに繋げることができた。							
課題		・他市町村からのガイド依頼は一定数あるが、市内の方からのガイドの依頼数が減少傾向にある。 ・フローラルガーデンよさみでのイベントとガイドボランティアとの連携を一層強化する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		ガイドボランティア会員数（人）			43	43	44	45	47
成果指標		ガイド申込者数（人）			3,112	2,594	1,917	2,000	2,200
他市との比較検証		依佐美送信所記念館と同じく産業をテーマとしている豊田市産業とくらし発見館においては、ボランティアによるガイドは実施していない。							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		243	145	100	950	合計	100,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	100,000 円	
		一般財源	243	145	100	950			
	職員人件費 ②		235	391	388	780			
	総事業費（①+②）		478	536	488	1,730			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			依佐美送信所記念館ガイド事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化財係
10	6	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	「依佐美の鉄塔」が建っていた当時を記憶している市民も多く、送信所でどのようなことが行われていたのかを説明することで、刈谷の歴史に対する理解を深める。ガイドボランティアと協働することで、地域からも愛される記念館運営となっている。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	ガイドボランティアの会に委託することで、低いコストでガイド事業を実施している。ガイド事業の計画や反省もガイドボランティアの会自身が行っており、業者委託や直営よりも効率的な運営が行われている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	依佐美送信所記念館の施設管理は、指定管理者によって行われているが、ガイド事業は専門性が求められることから、指定管理者による運営は難しい。自主的に活動しているボランティアに対し、ガイドを委託する体制は有効である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	依佐美送信所記念館は、開館以来多くの賞を受賞している。そのため市外・県外からの来館者も多く、機械ではなく人による案内があることで刈谷の貴重な文化資源のPRが効果的に行われ、刈谷市の知名度向上に繋がっている。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・現在は、依佐美送信所に詳しい方がボランティアとして在籍しているため、当時の記憶がガイドに活かされているが、解体から歳月が経つにつれ記憶が風化していくことから、資料化して伝えていくなどの取組が早急に必要である。ガイドボランティア内で自発的にこれらの活動が行われており、市はサポートを行っていく。 ・平成29年度には開館から10年が経過し、写真パネルの色あせなどがみられ、ハード面の再整備も部分的に必要となってきた。					

会計名 一般会計			文化財保存整備事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	2					担当係	文化財係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	文化財の修復及び複製を製作することで、文化財の保存を図る。また、市民の文化財に対する興味関心を高めるため、歴史博物館での展示活用を図る。				主たる内容	○市指定文化財を始めとした文化財の修復 ○刈谷市に関係のある文化財の複製製作		
	位置づけ	関連計画 刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画 根拠法令 文化財保護法、刈谷市文化財保護条例							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成26年度～			
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 「華陽院画像」の複製製作 「伝通院像」（松本市玄向寺所蔵）の複製製作 「豊臣秀吉書状」の修復 		<ul style="list-style-type: none"> 「伝通院調度品」の複製製作 「水野忠政画像」（名古屋博物館所蔵）の複製製作 		<ul style="list-style-type: none"> 「肴町の山車」の台輪の修復 「亀城小学校額絵」の修復 出土土器復元及び彩色 市指定史跡「椎の木屋敷跡」への防犯灯設置工事 		<ul style="list-style-type: none"> 歴史の小径案内板の張替 「刈谷町鳥瞰図」の修復 「細井広沢扁額」の複製製作 泉田古墳出土遺物の保存処理 市指定史跡「椎の木屋敷跡」外灯LED取替え工事 	
		成果	<ul style="list-style-type: none"> 「肴町の山車」の台輪を修復し、活用可能な状態とした。 「亀城小学校額絵」の修復、及び出土土器の復元により、展示公開が可能な状態にした。 椎の木屋敷跡に防犯灯を設置し、夜間の安全性を高めた。 						
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		修復文化財数（点）			1	0	2	1	1
活動指標	複製製作文化財数（点）			2	2	0	1	0	
他市との比較検証	豊田市では、27年度は2点、28年度は2点、29年度は1点の修復を行い、その他28年度には1点複製を製作した。								
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,256	4,052	2,198	8,100	合計	2,197,520 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	1,847,600 円	
		一般財源	2,256	4,052	2,198	8,100	工事請負費	349,920 円	
	職員人件費 ②		470	782	775	273			
	総事業費（①+②）		2,726	4,834	2,973	8,373			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
	29年度までの累積事業費		0						
	31年度以降の事業費見込		0						

会計名			文化財保存整備事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化財係
10	6	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	市民の財産である文化財を保護保存することは、文化財保護法に規定されている法的業務である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	文化財の修復には取扱いに習熟している専門業者への委託が不可欠であるが、修復方法については市の学芸員とともに調査・検討することで、より効果的な方法で実施した。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	文化財は未来の市民へ繋いでいくべきものであり、市の事業として実施すべきものである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	修復や複製を製作することで、歴史博物館等の施設での公開が可能となり、文化財の活用を図ることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・ 損傷が激しい文化財については、今後とも適宜修復を行っていく。					

会計名 一般会計			刈谷偉人伝等制作事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	2					担当係	文化財係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	歴史の啓発						
	目的	刈谷市にゆかりのある人物や祭りを広く市内外に紹介し、顕彰する。歴史博物館での活用や、小中学生の歴史教材とする等、様々な分野で刈谷市の歴史文化や魅力をPRすることができる啓発促進手段の一つとする。			主たる内容	○刈谷偉人小伝の作成 ○刈谷の祭映像の作成			
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画、刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成20年度 ~ 平成29年度			
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 「徳川家康の生母・於大」の頒布開始及び増版 偉人小伝「松平定政」、 「大中肇」の作成 「豊田佐吉と喜一郎」の紙芝居の作成 		<ul style="list-style-type: none"> 偉人小伝「刈谷藩三家老事件」、「大野一族三代記」の作成 「徳川家康の生母・於大」の紙芝居の作成 刈谷の祭映像の作成 		<ul style="list-style-type: none"> 偉人小伝「石田退三」、「高野鎮雄」の作成 「戦国時代の水野氏」、「刈谷ものがたり」映像の作成 偉人伝再生機再生回数計測機能の作成 		_____	
成果		<ul style="list-style-type: none"> 紙芝居を幼稚園・保育園、小学校等に配付した結果、子どもたちに刈谷の偉人について広く伝えることができた。 刈谷偉人小伝を2作品と『戦国時代の水野氏』『刈谷ものがたり』映像を作成することにより、平成30年度の歴史博物館の開館に向け準備を整えることができた。 							
課題		<ul style="list-style-type: none"> これまで作成した6作品の販売数が伸び悩んでいる。 							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
成果指標		頒布部数（部）			159	61	34	—	—
活動指標		刈谷のPRのため、DVDを会議等の場で活用・広報した回数（回）			11	12	10	—	—
他市との比較検証		<ul style="list-style-type: none"> 郷土の偉人・文化人等を紹介するアニメDVDを作成している近隣市として、その事業実施方法、レベル及び作成費用等を検証し、参考とした。 検証先・・・豊田市視聴覚ライブラリー『とよたの人物記』 							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		4,333	10,648	13,016	0	合計	13,015,857 円	
	財源	特定財源	4,159	61	32	0	委託料	13,015,857 円	
		一般財源	174	10,587	12,984	0			
	職員人件費 ②		2,037	1,172	1,163	0			
	総事業費（①+②）		6,370	11,820	14,179	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費			0	冊子等頒布収入					
31年度以降の事業費見込			0						

会計名			刈谷偉人伝等制作事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化財係
10	6	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	史跡めぐりへの応募者数を見ても、郷土の歴史に対する関心は高く、郷土の偉人を顕彰する事業はニーズがある。小中学校に配付し教育的利用を促すことで、郷土学習にも役立っている。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	偉人小伝は2作品を同時進行で作成することで、取材・撮影・音入れ等にかかるコストや時間を節減することができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	小中学校での積極的な活用を促すことにより、教育的効果が期待できる。図書館等の施設でのDVDの公開・貸出のほか、市の行事等に活用することで郷土の歴史に対する認知度の向上を図ることができる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	魅力発信事業関連の各種イベント等で上映し、幅広い世代の市民の目に触れる機会を創出した。郷土の偉人を通して歴史文化を啓発することで、郷土愛の育成に寄与することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
・ これまでに作成した刈谷偉人伝、刈谷偉人小伝、刈谷偉人伝紙芝居、祭り映像等は歴史博物館を中心に活用していく。					

会計名			観光PR施設管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	観光係		
7	1	2								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	観光							
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信							
	目的	刈谷市及び衣浦定住自立圏域市町の観光情報発信拠点として、刈谷ハイウェイオアシス内にあるオアシス館刈谷を充実させる。 また、刈谷駅前観光案内所において、観光客やビジネス客への総合的な案内と観光情報の紹介、自転車の無料レンタル等を行うことにより、観光客の増加を図るための環境を整える。			主たる内容		○オアシス館刈谷の展示物品の変更や修繕及び管理 ○刈谷駅前観光案内所の管理			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画							
		根拠法令								
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成16年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・展示用器具修繕 ・観光案内所仮設建物借上		・展示用器具修繕 ・観光案内所仮設建物借上		・展示用器具修繕 ・観光案内所仮設建物借上		※観光施設等管理事業に移行		
成果		・オアシス館刈谷の管理を適正に実施することにより、刈谷ハイウェイオアシスの多くの来場者に対し、刈谷市を含む衣浦定住自立圏域市町の観光情報を積極的に発信することができた。 ・刈谷駅北口広場に観光案内所を設置することにより、市内及び定住自立圏域の観光案内、みやげ品の販売、レンタサイクル及び超小型EVの貸し出しサービス等を提供するための環境を整えることができた。								
課題		・オアシス館刈谷は、多くの来場者に対し効果的な情報発信を行うためにも、定期的なリニューアルが必要である。 ・観光案内所は、設置場所を踏まえ、周辺の環境を生かして、より充実した情報発信やサービスの提供ができるよう運営方法を検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
成果指標		オアシス館刈谷来場者数（人）			779,700	634,500	546,400	680,000	680,000	
成果指標		観光案内所来場者数（人）			15,258	14,794	17,600	18,000	19,000	
他市との比較検証		・他市に類似の施設がないため比較できない。 ・近隣市では、岡崎市、西尾市、安城市、高浜市、知立市、大府市が観光案内所を設置している。								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		771	998	720	0	合計		719,919 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費		103,023 円	
		一般財源	771	998	720	0	使用料及び賃借料		616,896 円	
	職員人件費②		1,959	2,735	931	0				
	総事業費（①+②）		2,730	3,733	1,651	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費			0							
31年度以降の事業費見込			0							

会計名			観光PR施設管理事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	刈谷ハイウェイオアシスは、市内外から多くの観光客が訪れることから、オアシス館刈谷の展示内容の充実は、衣浦定住自立圏域市町の情報発信に寄与し、観光振興のために必要である。また、乗降客数の多い刈谷駅前でおもてなしを行う観光案内所も同様である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	施設の管理運営を刈谷ハイウェイオアシス内で一括して行うことにより、事業運営と展示内容の更新等をそれぞれ効率的に実施できる体制が整っている。 また、観光案内所は、観光協会と役割を分担して取り組むことにより最適な設置・運営体制を実現している。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	地域の活性化のためには、観光振興が必要であり、市全体の魅力を発信するための環境整備は、行政がその役割を果たすことが妥当である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	オアシス館刈谷は県内有数の観光客数を誇る刈谷ハイウェイオアシス内という立地により、広く効果的に情報発信を行うことができ、施策に貢献している。 また、乗降客数の多い刈谷駅前情報発信等に取り組む観光案内所も同様である。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
・衣浦定住自立圏域市町と連携し、オアシス館刈谷を積極的に活用するとともに、効果的な情報発信のため、オアシス館刈谷の展示内容の充実及び定期的な更新を行う。 ・観光案内所については、刈谷駅北地区整備事業の推進に伴い、産業振興センター1階に移設したため、当該施設内で運営している間は行政によるハード面の確保を休止する。					

会計名			観光協会補助事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	観光係		
7	1	2								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	観光							
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信							
	目的	刈谷市観光協会への補助を通し、観光資源の発掘やPR、祭りやイベントを開催し、観光の振興による市の活性化を目指す。			主たる内容	刈谷市観光協会が行う観光事業の経費を補助する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画							
		根拠法令								
		対象者	刈谷市観光協会		事業期間	平成10年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B事業 D実績 O実績 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・主催、共催等事業 桜まつり、大名行列・山車祭、万燈祭、わんさか祭り、きぬうら☆うらら音楽祭、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展 ・観光案内所運営		・主催、共催等事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営		・主催、共催等事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営		・主催、共催等事業 桜まつり、西三河フォークジャンボリー、大名行列・山車祭、万燈祭、わんさか祭り、刈谷アニメcollection、野田雨乞笠おどり、わたしの刈谷展、刈谷駅イルミネーション ・観光案内所運営		
成果		平成10年3月に刈谷市観光協会が発足して以来、祭りやイベントの実施機関として大きな役割を果たしている。								
課題		・祭りやイベントの実施機関としての役割だけでなく、今後は観光資源の発掘やPRの面でも推進する必要がある。 ・各種関連団体との連携を強化するとともに、役割の明確化を図る必要がある。								
O実績 V	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
	成果指標	主催・共催事業来場者数（人）			424,004	381,422	400,900	424,000	424,000	
他市との比較検証	観光協会が主催するイベントの多さから、補助金額が県内他市町村と比較して多くなっている。									
C事業 コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費①		124,003	124,368	121,314	114,772	合計 121,314,000円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 121,314,000円			
		一般財源	124,003	124,368	121,314	114,772				
	職員人件費②		3,917	4,689	5,428	3,120				
	総事業費（①+②）		127,920	129,057	126,742	117,892				
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称					
	29年度までの累積事業費		0							
	31年度以降の事業費見込		0							

会計名			観光協会補助事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	観光事業は、各種関連団体と連携し、祭りやイベントを開催することにより、市の活性化に貢献している。また、観光客及び市民が満足する観光ガイド活動や市の魅力を十分に伝える情報発信の手段を担っているため、本事業は必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	会員の増員など、あらゆる面で観光協会の自主財源確保の施策が必要とされる。総支出額に占める、イベント事業費の割合が高く、内容・効率性の見直しを検討するとともに、観光客や市民の視点から実施計画を改善していく必要がある。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	観光協会は地域の特性にあった事業及び伝統的事業を展開することで、刈谷市の観光振興に貢献しており、事業の円滑な実施にあたり、行政の協力が必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	観光振興や知名度を向上させ、観光客の誘客に必要なイベントの開催・情報発信に寄与することで、市民の郷土愛を高める効果がある。また、観光を推進することで、文化の向上、産業・経済の発展、活気あるまちづくりに寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・市や各種関連団体と観光協会との役割分担を明確にしながら、観光協会の機能の強化に取り組む。					

会計名 一般会計			歴史文化観光行事等開催補助事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
7	1	2					担当係	観光係		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興							
		基本施策	観光							
		施策の内容	観光資源の発掘と活用							
	目的	各種保存団体が開催する歴史文化行事に対して補助することで、伝統文化の保存、継承及び観光の振興による地域活性化を図る。				主たる内容	○各種保存団体の行事開催に要する経費の補助 ＜対象団体＞ ・刈谷万燈保存会 ・野田雨乞笠おどり保存会 ・刈谷春祭保存継承委員会			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画							
		根拠法令								
		対象者	主たる内容欄※参照			事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		—		—		・刈谷万燈祭 開催日 7月29日・30日 来場者数 118,000人 ・野田雨乞笠おどり 開催日 8月27日 来場者数 650人		・大行列・山車祭 開催日 5月3日 ・刈谷万燈祭 開催日 7月28日・29日 ・野田雨乞笠おどり 開催日 8月26日		
成果		・（万燈祭）市内外の他のイベントに積極的に参加することで、知名度が向上し、刈谷市を代表する祭りとして市内外に認知されるようになってきている。 ・（野田雨乞笠おどり）古くから野田地区に伝わる野田雨乞笠おどりを観光資源として支援することにより、刈谷市の魅力を高めることができた。								
課題		・（共通）開催場所を含む地域以外についても認知度を高めていく必要がある。								
指標名称（単位）		実績値			目標値					
		27年度	28年度	29年度	30年度	32年度				
成果指標	来場者数（人）	—	—	118,650	161,650	161,650				
活動指標										
他市との比較検証	刈谷市独自の祭事であるため、比較できない。									
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	5,534	10,740	合計 5,534,000 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 5,534,000 円			
		一般財源	0	0	5,534	10,740				
	職員人件費 ②		0	0	4,265	4,290				
	総事業費（①+②）		0	0	9,799	15,030				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			歴史文化観光行事等開催補助事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	観光係
7	1	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	地域に根ざした伝統ある祭りを補助することにより、市民の地域への誇りと愛着を増し、また、祭りを開催することにより地域経済の活性化にも寄与している。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	各関係者の役割分担の見直しを行い、それぞれの団体の強みを生かして効率的・効果的に祭りが実施できるよう取り組む余地がある。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市及び県の無形民俗文化財に指定されている祭りの保存、伝承継承に寄与するとともに、近年、祭りのより対外的なPRが求められているため、補助は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	万燈祭や野田雨乞笠おどりは刈谷の伝統的な祭りであり、これらの祭りの開催をバックアップし、活性化を図ることにより、直接的に施策に貢献することが可能である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・市内においては刈谷に誇りと愛着を持ってもらうように各祭りの開催地域以外での認知度を高め、魅力の向上に取り組む。また、市外に対してはより効果的なPRを行い、祭りや刈谷市の認知度の向上に努め、観光客の増加に取り組む。					

会計名		刈谷の魅力発信事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	文化観光課		
款	項					目	担当係	文化振興係	
2	1					2		観光係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	計画推進						
		基本施策	情報共有						
		施策の内容	広報・広聴の充実						
	目的	刈谷が持つ地域資源の魅力を生市内外へ発信し、住みたい、住み続けたい、訪れてみたいまちを目指し、定住人口の増加へ繋げる。			主たる内容	○歴史文化のPR 市内外で刈谷の歴史文化を紹介するPRブースを運営する。 ○刈谷城盛上げ隊の運営 市内外のイベント等へ参加出演する刈谷城盛上げ隊を運営する。 ○東吉野村民の刈谷市史跡めぐり 東吉野村民が、刈谷市内の天誅組に関する史跡をたどる。			
	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
	根拠法令	文化芸術基本法							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成25年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・歴史ガイドブックの作製 ・PR用物品の作製、活用 ・PRブースの出展 ブース出展回数 7回 ・刈谷市史跡めぐりの開催 参加者数 34人 ・偉人伝再生機の設置 4箇所 ・刈谷城築城盛上げ隊 出演回数 39回		・PRブースの出展 ブース出展回数 8回 ・東吉野村ウォーキングの開催 参加者数 26人 ・刈谷城盛上げ隊 出演回数 34回		・PRブースの出展 ブース出展回数 5回 ・刈谷市史跡めぐりの開催 参加者数 11人 ・刈谷城盛上げ隊 出演回数 27回		・PRブースの出展 ブース出展回数 5回 ・東吉野村ウォーキングの開催 ・刈谷城盛上げ隊 出演回数 35回	
成果		・市内外のイベント等においてPRブースの出展や刈谷城盛上げ隊の出演により、刈谷市の魅力をPRできた。 ・刈谷市史跡めぐりを開催することで、東吉野村民の参加者に本市の天誅組に関する歴史をPRするとともに、両市町村としての結びつきを再確認してもらうことができた。							
課題		・PRブースの出展や刈谷城盛上げ隊の出演については、次年度以降も継続性をもって事業を実施し、刈谷市の魅力をPRしていく必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標	PRブース出展、刈谷城盛上げ隊出演回数（回）		46	42	32	40	40		
成果指標	刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）		—	35.0	—	38.0	38.0		
他市との比較検証	・他市の武将隊の場合、プロダクションなどに委託しアクターを採用しているが、本市においてはボランティアを採用し、幅広い人材を確保している。								
C 事業コスト V	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		4,943	5,376	5,062	5,073	合計	5,062,415 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	24,994 円	
		一般財源	4,943	5,376	5,062	5,073	役務費	15,713 円	
	職員人件費②		3,134	3,908	6,204	7,098	委託料	5,000,000 円	
	総事業費（①+②）		8,077	9,284	11,266	12,171	負担金、補助及び交付金	21,708 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷の魅力発信事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	文化観光課
款	項	目		担当係	文化振興係
2	1	2			観光係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	歴史文化を啓発することで、市民に郷土の歴史文化に誇りを持ってもらい、地域の活性化を図る一助とする。 現在は県内外の他自治体においても、武将隊をはじめ歴史文化の啓発事業が盛んであり、社会需要は存在する。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	事業を委託することで職員の負担の軽減を図った。 また、刈谷城盛上げ隊の隊員にボランティアを採用することで、コストを抑えつつ、幅広い人材を確保することができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	事業を通じて、総合計画にある「まちの歴史に対する認知度を高める必要」に応えることができる。 市が主体となって実施することで、より一層本市の魅力をPRすることができる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	各種イベントにおいて演舞等を披露することで、市民が気軽に歴史文化に親しむことのできる街であることをアピールすることができるため、施策への貢献度は高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・本市の歴史文化を幅広い人々にPRするとともに、刈谷市の魅力を発信していくため、今後も継続性をもって事業を実施する。					

会計名 一般会計			民俗芸能啓発事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	1					担当係	文化振興係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	創作・発表の機会づくり							
	目的	本市固有の無形民俗文化財継承団体の活動を支援し、先代がこれまで培ってきた郷土の文化財の保存・伝承を図る。			主たる内容	指定無形民俗文化財の継承団体が愛知県民俗芸能大会等に出演する経費を補助する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令								
		対象者	無形民俗文化財保存団体		事業期間	平成22年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 各団体に披露や啓発の募集の情報提供 申請の事務補助 11月8日（野田雨乞笠おどり保存会） 催事名：第30回国民文化祭・かごしま2015 開催地：鹿児島県始良市 		<ul style="list-style-type: none"> 各団体に披露や啓発の募集の情報提供 申請の事務補助 		<ul style="list-style-type: none"> 各団体に披露や啓発の募集の情報提供 申請の事務補助 9月17日（刈谷万燈保存会） 催事名：愛知県民俗芸能大会半田市大会 開催地：半田市 		<ul style="list-style-type: none"> 各団体に披露や啓発の募集の情報提供 申請の事務補助 		
成果		刈谷万燈保存会が、愛知県民俗芸能大会半田市大会に出演することを支援したことにより、本市の文化財を市外に向けて広く周知することで保存・継承を図ることができた。								
課題		予算に限りがあるため、複数の団体が民俗芸能大会に出演した場合に補助金を交付できない可能性がある。								
指標		指標名称（単位）				実績値			目標値	
活動指標	出演支援回数（団体）				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
					1	0	1	1	1	
他市との比較検証	平成29年度愛知県民俗芸能大会（半田市大会）に出演した団体（本市の団体を除き5団体）の多くは、属する市町村から出演に関する補助金の交付を受けていないため、本市は、他市に比べて手厚い支援ができています。									
C 事業コスト V	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		1,141	0	300	300	合計		300,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金		300,000 円	
		一般財源	1,141	0	300	300				
	職員人件費 ②		1,018	391	388	390				
	総事業費（①+②）		2,159	391	688	690				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			音楽振興活動補助事業				担当部	市民活動部
款	項	目					担当課	文化観光課
10	6	1					担当係	文化振興係
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	文化・芸術					
		施策の内容	活動の支援体制の充実					
	目的	刈谷市文化振興基本計画では、「音楽のあるまちづくり」を掲げており、この施策実現の一翼を担う刈谷音楽協会へ支援することにより、本市の音楽文化の更なる発展を図る。			主たる内容	音楽協会が行う演奏会などの事業を支援する。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画					
		根拠法令						
		対象者	刈谷音楽協会	事業期間	平成18年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画
		・6月21日 第11回刈谷音楽祭 ・12月5日 第9回音楽協会演奏会		・6月19日 第12回刈谷音楽祭 ・12月3日 第10回音楽協会演奏会		・6月11日 第13回刈谷音楽祭 ・12月2日 第11回音楽協会演奏会		※文化芸術団体育成事業に移管
成果		音楽祭及び演奏会の開催を支援することで、音楽のあるまち刈谷をPRすることができた。						
課題		会員数が横ばい傾向であり、新規会員を獲得していく必要がある。						
指標名称（単位）			実績値			目標値		
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
成果指標		日頃から文化や芸術に親しんでいる市民の割合（％）		—	44.9	—	—	—
指標								
他市との比較検証		近隣市で音楽家の協会があるのは、岡崎市と安城市のみである。岡崎市では文化協会に所属しており、市が文化協会の活動を支援している。安城市では活動に対する補助はしていない。						
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳
	事業費 ①		440	800	800	0	合計 800,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 800,000 円	
		一般財源	440	800	800	0		
	職員人件費 ②		705	860	620	0		
	総事業費（①+②）		1,145	1,660	1,420	0		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称		
29年度までの累積事業費		0						
31年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			文化振興基本計画策定事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	1					担当係	文化振興係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	活動の支援体制の充実							
	目的	刈谷市文化振興基本計画が平成29年度末をもって期間満了となるため、計画の進捗や社会情勢等の変化を反映させた基本計画を策定し、さらなる文化芸術の振興を図る。				主たる内容	○第2次刈谷市文化振興基本計画の策定			
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令							
		対象者				事業期間	平成29年度 ~ 平成29年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
						・第2次刈谷市文化振興基本計画の策定				
成果		現在の刈谷市の文化芸術の現状を踏まえ、文化・歴史・観光を組み合わせた計画を策定することができた。								
課題		新たに策定した事業の評価・検証等の進捗管理を適切に行っていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		文化振興基本計画策定委員会開催回数（回）			—	—	3	—	—	
活動指標		計画策定進捗率（%）			—	—	100.0	—	—	
他市との比較検証		平成29年度に文化振興計画を策定している近隣市町はないが、県内の約半数の市町村が文化芸術振興のための指針を掲げている。								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	2,191	0	合計 2,191,320 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費 172,800 円			
		一般財源	0	0	2,191	0	委託料 2,018,520 円			
	職員人件費 ②		0	0	6,591	0				
	総事業費（①+②）		0	0	8,782	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化振興係		
10	6	10								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり							
	目的	十朋亭を市民に憩いの場として提供できるように管理することで、文化の向上及び福祉の増進を図る。			主たる内容	○十朋亭の受付等業務委託 ○十朋亭の施設・設備修繕				
	関連計画									
	位置づけ	根拠法令	刈谷市十朋亭条例・刈谷市十朋亭条例施行規則							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	昭和47年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 受付等業務委託 夜間受付等業務委託 空調設備保守業務委託 消防用設備保守管理委託 		<ul style="list-style-type: none"> 受付等業務委託 夜間受付等業務委託 空調設備保守業務委託 消防用設備保守管理委託 		<ul style="list-style-type: none"> 受付等業務委託 夜間受付等業務委託 空調設備保守業務委託 消防用設備保守管理委託 		<ul style="list-style-type: none"> 受付等業務委託 夜間受付等業務委託 空調設備保守業務委託 消防用設備保守管理委託 		
成果		年代を問わず、四季を通じて会合、レクリエーション、休憩等で多くの方の利用に供し、住民の福祉の増進を図ることができた。								
課題		亀城公園再整備計画の中で、一体的に施設のあり方を検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		提供した時間区分数（回）			995	922	845	900	950	
指標										
他市との比較検証		施設の目的、周辺環境で類似の施設がなく比較が困難である。								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		5,128	4,853	5,090	5,396	合計	5,090,338円		
	財源	特定財源	1,000	923	846	887	需用費	904,289円		
		一般財源	4,128	3,930	4,244	4,509	役務費	48,332円		
	職員人件費②		1,567	5,080	4,653	4,680	委託料	4,137,717円		
	総事業費（①+②）		6,695	9,933	9,743	10,076				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
		29年度までの累積事業費		0		十朋亭管理費				
31年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			施設補修事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	10					担当係	文化振興係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり							
	目的	十朋亭の補修を行うことにより、利用者に快適な施設空間の提供を図る。			主たる内容	○屋根瓦修繕				
	関連計画									
	位置づけ	根拠法令	刈谷市十朋亭条例・刈谷市十朋亭条例施行規則							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成29年度～平成30年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		—		—		・屋根瓦の修繕		・空調機修繕		
成果		屋根瓦を修繕したことにより、雨漏りの発生を未然に防ぐことができた。								
課題		空調機が経年劣化により不具合が生じているため修繕が必要である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		建物修繕回数（回）			—	—	1	1	—	
活動指標										
他市との比較検証		施設の目的、周辺環境で類似の施設がなく比較が困難である。								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	200	950	合計		199,800円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費		199,800円	
		一般財源	0	0	200	950				
	職員人件費②		0	0	1,163	1,170				
	総事業費（①+②）		0	0	1,363	2,120				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
		29年度までの累積事業費		0						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			文化財保存管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	6	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	文化財の保護と整備を行い、史跡等を適切に管理する。また、文化財を啓発普及するため、「歴史の小径」の活用を図り、市内外へ向けて広報することで、文化財に対する興味関心を高める。			主たる内容	○史跡の維持管理及び樹木剪定等の管理 ○「歴史の小径」「椎の木屋敷跡」他のパンフレット等の改訂・印刷				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 椎の木屋敷跡他史跡管理 歴史の小径増刷 文化財保護審議会委員県外研修（富岡市・甘楽町・桐生市） 歴史資料等の購入 全国史跡整備市町村協議会参加 		<ul style="list-style-type: none"> 椎の木屋敷跡他史跡管理 歴史の小径増刷 文化財保護審議会委員県外研修（松本市） 歴史資料等の購入 全国史跡整備市町村協議会参加 		<ul style="list-style-type: none"> 椎の木屋敷跡他史跡管理 歴史の小径増刷 文化財保護審議会委員県外研修（五條市） 歴史資料等の購入 全国史跡整備市町村協議会参加 		<ul style="list-style-type: none"> 椎の木屋敷跡他史跡管理 歴史の小径増刷 文化財保護審議会委員県外研修（金沢市） 歴史資料等の購入 全国史跡整備市町村協議会参加 		
成果		椎の木屋敷跡などの史跡の維持管理及び高木剪定等を実施し、良好な状態に保つことができた。								
課題		文化財の啓発と周知を図るため、「歴史の小径」等パンフレットを更に活用するとともに、ガイドボランティアとの連携を一層活発化させていく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		草刈・清掃等史跡管理回数（回）			12	12	12	12	12	
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）			—	35.0	—	40.5	46.0	
他市との比較検証		西尾市 草刈・清掃等史跡管理回数（4回程度／年）								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		5,049	4,262	6,156	7,115	合計	6,156,036 円		
	財源	特定財源	7	7	7	16	報償費	10,890 円		
		一般財源	5,042	4,255	6,149	7,099	旅費	120,300 円		
	職員人件費 ②		783	313	233	546	需用費	399,094 円		
	総事業費（①+②）		5,832	4,575	6,389	7,661	役務費	23,820 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
31年度以降の事業費見込		0								
						委託料	3,747,168 円			
						使用料及び賃借料	9,264 円			
						備品購入費	1,765,500 円			
						負担金、補助及び交付金	80,000 円			

会計名			発掘調査出土遺物整理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	文化観光課		
款	項	目					担当係	文化財係		
10	6	2								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	住宅建設や宅地造成等に伴う緊急発掘調査や試掘調査により市内の遺跡から出土した埋蔵文化財を整理・保存し、市域の歴史解明の一助とする。	主たる内容	臨時職員により遺跡ごとに遺物の洗浄・注記・接合・復元・実測等の整理作業を行い、調査成果を広く市民に公開するための作業を行う。 また、年々増加する資料を効率よく収納するとともに収蔵台帳を整備し、専門家の資料調査のニーズに対応する。						
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令		文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・築地貝塚出土遺物 1次整理（洗浄・注記） ・中条遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記）		・市内遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測）		・市内遺跡出土遺物 1次整理（洗浄・注記） 2次整理（拓本・実測）		※埋蔵文化財調査整理事業へ移行		
成果		・緊急発掘調査を行った宮東第1号貝塚をはじめ試掘・確認調査を行った市内各遺跡の出土遺物について、1次整理（洗浄・注記）まではすべて実施することができた。								
課題		・年々増加する出土遺物量に対して、作業場の収蔵スペースが不足している。また、調査成果を市民に公開する展示スペースの確保も必要である。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
活動指標		1次整理作業実施率（％）		100.0	100.0	100.0	—	—		
活動指標		2次整理作業実施件数（件）		0	2	1	—	—		
他市との比較検証		安城市においては埋蔵文化財センターにおいて基本的に1次整理までは年度内に完了している。また、主な出土品については2次整理まで実施し、翌年度にセンター内の展示コーナーで速報展を開催して発掘調査の成果を市民に公開している。								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,385	3,319	3,519	0	合計	3,518,873 円		
	財源	特定財源	0	14	9	0	賃金	3,410,240 円		
		一般財源	3,385	3,305	3,510	0	報償費	25,600 円		
	職員人件費 ②		705	547	388	0	需用費	83,033 円		
	総事業費（①+②）		4,090	3,866	3,907	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名		史跡めぐり開催事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	文化観光課		
款	項					目	担当係	文化財係	
10	6					2			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	市民が刈谷の文化財や歴史に触れ、学ぶことができる機会を提供するとともに、刈谷の歴史文化を案内するためのガイドボランティアを育成し、文化財の活用と歴史の啓発を図る。			主たる内容	○年3回、史跡めぐりの開催 ○郷土資料館における見学者案内 ○市内学校の総合的な学習に伴うガイドの派遣			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成15年度～			
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	B 事業実績 実績 O 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年3回：井ヶ谷、まちなか、野田半城土コース） 小学3年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年3回：城下町、東海道、高須コース） 小学3年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年3回：築地・恩田、鎌倉街道、小垣江コース） 小学3年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 		<ul style="list-style-type: none"> 史跡めぐり案内（年3回：泉田、小山、元刈谷コース） 小学3年生体験学習における案内、説明 一般からの「歴史の小径」散策ガイド依頼に対するボランティア派遣実施 郷土資料館案内補助 	
成果		<ul style="list-style-type: none"> ボランティアの会員自身が歴史や説明方法を随時学習・調査するなど、積極的に向上心をもって活動している結果、依頼者からは好評をいただき、史跡めぐりの参加者アンケート結果からは平均して8割以上から満足との評価を得た。 高齢者の社会参加の好ましい例として、内閣府より平成26年度ボランティア活動功労者表彰を受けた。 平成29年度にガイドボランティア養成講座を実施したことで新たに7名の会員が加わり、会の活性化を図れた。 参加者の増加に伴い、駐車スペースの確保が課題となってきている。 							
課題									
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		一般申込によるガイド依頼および小中学校の総合学習支援（件）		50	50	50	50	50	
成果指標		刈谷の歴史に興味を持っている市民の割合（％）		—	35.0	—	40.5	46.0	
他市との比較検証		にしお観光ボランティアガイドの会…モデルコース2コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 安城ふるさとガイドの会…モデルコース6コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 知立市観光ボランティアの会…モデルコース2コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施 三州高浜鬼みち案内人の会…モデルコース1コース、依頼ガイドへのガイド派遣実施							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		182	182	181	182	合計	181,383 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	9,383 円	
		一般財源	182	182	181	182	委託料	172,000 円	
	職員人件費 ②		783	547	620	741			
	総事業費（①+②）		965	729	801	923			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
	29年度までの累積事業費		0						
	31年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			中条遺跡発掘調査事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	2					担当係	文化財係		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	中条遺跡の発掘調査で出土した遺物や調査記録を整理し報告書作成のための資料化を行うことで、市域の歴史解明の一助とする。				主たる内容	有識者による非営利団体である刈谷市埋蔵文化財発掘調査会へ委託して、発掘調査で出土した遺物の洗浄・注記・接合・復元・実測や調査記録図面・写真の整理・保存を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成9年度～平成29年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 平成12年度分断面実測 平成11年度分遺構図面整理 平成11年度分遺構図面トレース 平成10年度分遺物観察表作成 平成11年度分調査記録写真整理 金属製品保存処理 		<ul style="list-style-type: none"> 平成12年度分遺構図面整理 平成11年度分遺物図面整理 平成11年度分遺構図面トレース 平成11年度分遺物観察表作成 平成11・12年度分金属製品保存処理 		<ul style="list-style-type: none"> 平成12年度分遺構図面整理 平成12年度分遺構図面トレース 平成12年度分遺物観察表作成 平成12年度分調査記録写真整理 		—		
成果		報告書作成に向けた資料化を計画的に進めるため、作業委託先である刈谷市埋蔵文化財発掘調査会の調査員と各調査年度毎の作業内容・手順を確認できた。								
課題		<ul style="list-style-type: none"> 出土遺物の量が膨大なため整理作業に時間がかかっている。 作業に必要な資料をストックしておくスペースが狭く作業効率が悪くなっている。 								
実施		他市との比較検証		豊田市においては民間業者に委託して実施した発掘調査の場合、翌年度にその整理作業から報告書作成までを同業者に委託して報告書刊行までの期間を短縮する方針で進めている。安城市においては整理作業の民間委託はせず基本的に直営で行うが、発掘調査から3年のうちに報告書を刊行する方針で進めている。いずれの市も埋蔵文化財を担当する正規職員が3～5名いる。						
C 事業コスト	単位：千円		27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	29年度 事業費内訳			
	事業費 ①		3,400	3,400	3,400	0	合計	3,400,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	3,400,000 円		
		一般財源	3,400	3,400	3,400	0				
	職員人件費 ②		1,254	1,016	1,008	0				
	総事業費 (①+②)		4,654	4,416	4,408	0				
	建設事業	全体事業費 (単位：千円)		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			埋蔵文化財発掘調査事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	6	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	住宅建設や宅地開発等に伴う緊急対応の発掘調査を行い、埋蔵文化財の記録保存を行うことで、市域の歴史解明の一助とする。			主たる内容	宅地開発等に伴う緊急対応を行い、発掘調査が必要な案件は刈谷市埋蔵文化財発掘調査会へ委託して調査を実施する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
	対象者	開発事業者及び市民			事業期間	平成13年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・窓口照会 1122件 ・試掘調査 35件 ・工事立会 22件 ・緊急発掘調査 3件 ・民間建築確認申請における対応件数 66件 未対応件数 86件		・窓口照会 1244件 ・試掘調査 35件 ・工事立会 21件 ・緊急発掘調査 2件 ・民間建築確認申請における対応件数 47件 未対応件数 37件		・窓口照会 1100件 ・試掘調査 35件 ・工事立会 20件 ・緊急発掘調査 2件 ・民間建築確認申請における対応件数 50件 未対応件数 30件		埋蔵文化財調査整理事業へ移行	
成果		・増加傾向にある埋蔵文化財の窓口照会における取扱説明は的確に行うことができた。積極的に事業者へ協力依頼して事前の試掘・確認調査を行ったことで、開発事業が遺跡に及ぼす影響の度合に応じて発掘調査あるいは工事立会など適正な対応をとることができた。緊急発掘調査は、事業者と十分に協議し、最大限可能な範囲での調査面積・調査期間を設け実施し、必要な記録保存を行えた。							
課題		・窓口照会と同様に、民間の審査機関への建築確認申請も増加するなか、埋蔵文化財への対応ができていない事案があったため、開発事業者等に埋蔵文化財の取扱手続の周知を強化していく必要がある。							
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度
	活動指標	窓口照会件数（件）			1,122	1,244	1,100	—	—
	成果指標	民間確認申請対応率（%） ＝対応件数/（対応件数＋未対応件数）			43.4	44.4	44.4	—	—
他市との比較検証	安城市の平成28年度実績は窓口照会604件、試掘・確認調査25件、工事立会60件、発掘調査9件、その他2件で、窓口照会件数は刈谷市より少ないが文化財保護法に基づく届出件数は83件と多く、多くの緊急調査に対応している。ホームページや広報誌への掲載、パンフレット配布等による埋蔵文化財の保護・取扱いに対する周知が刈谷市より進んでいる。								
C 事業 コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		446	1,215	525	0	合計	524,840 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	524,840 円	
		一般財源	446	1,215	525	0			
	職員人件費 ②		1,175	2,735	1,939	0			
	総事業費（①＋②）		1,621	3,950	2,464	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			施設管理事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	文化観光課		
10	6	6					担当係	文化財係		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	歴史・文化財							
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用							
	目的	国の登録文化財である刈谷市郷土資料館の適切な施設管理を図る。				主たる内容	○国の登録文化財である郷土資料館の施設管理			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	文化財保護法						
		対象者	対象者を限定せず				事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・指定管理者制度実施 ・建物1階床下の白蟻駆除		・指定管理者制度実施		・指定管理者制度実施		・指定管理者制度実施		
成果		・指定管理者への管理委託を行い、国登録文化財の適切な運用に努めた。								
課題		・建物が登録文化財であるため、施設の状態に常に注視し、異常があった場合に速やかに対応する必要がある。								
指標名称（単位）					実績値			目標値		
成果指標		総入館者数（人）				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度
指標					11,910	15,080	13,000	13,000	13,000	
他市との比較検証	郷土資料館が昭和30年代の展示やイベントを実施するにあたり、参考とした館と入館者数。 ・北名古屋市長歴史民俗資料館 年間46,895人（平成28年度）									
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		19,951	18,834	19,584	25,105	合計	19,583,767 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	82,229 円		
		一般財源	19,951	18,834	19,584	25,105	委託料	19,501,538 円		
	職員人件費 ②		1,018	625	620	390				
	総事業費（①+②）		20,969	19,459	20,204	25,495				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費			0							
31年度以降の事業費見込			0							

会計名			市史資料整理活用事業				担当部	市民活動部			
一般会計							担当課	文化観光課			
款	項	目					担当係	文化財係			
10	6	1									
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	歴史・文化財								
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用								
	目的	刈谷の歴史に関わる資料の調査・整理を行い、歴史資料の保存と活用を図る。また、資料公開のための準備を進めていく。				主たる内容	○市内外における資料の調査 ○刈谷に関する関係資料の収集 ○資料目録の作成 ○マイクロフィルム資料の紙焼き				
	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画								
			根拠法令	文化財保護法、公文書館法、博物館法							
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成7年度～				
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画			
		・資料調査の実施 5回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 5回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 5回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理		・資料調査の実施 5回 ・資料整理の実施 ・新聞データの整理			
成果		<ul style="list-style-type: none"> 資料調査によって、新しく発見した資料を収集し、整理できた。 整理済資料から歴史研究を行い、出前講座等で活用し、市民に刈谷の歴史を啓発できた。 マイクロフィルムの紙焼きを進め、市民が閲覧できる環境を整えた。 新聞記事により、刈谷関係および文化財関係記事のデータベース化を行った。 資料の整理に時間をとられ、資料の分析が十分できなかった。 									
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
活動指標		調査回数（回）			5	5	5	5	5		
活動指標		調査・整理資料点数（点）			500	500	500	500	500		
他市との比較検証		名古屋市と安城市では、市史の刊行は完結し、博物館が必要に応じて調査を実施している。									
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		4,945	5,033	3,745	5,344	合計	3,745,087 円			
	財源	特定財源	167	153	41	181	賃金	1,706,320 円			
		一般財源	4,778	4,880	3,704	5,163	旅費	112,020 円			
	職員人件費 ②		1,175	1,172	1,163	1,716	需用費	1,776,962 円			
	総事業費（①+②）		6,120	6,205	4,908	7,060	役務費	119,018 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称					
29年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入							
31年度以降の事業費見込		0									
負担金、補助及び交付金		6,600 円									

会計名			発掘調査報告書作成事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	文化財係	
10	6	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	平成9～12年度にかけて実施した中条遺跡の発掘調査について、調査年度毎に成果をまとめた報告書を作成することで、その学術的な成果を広く一般公開し、本市の歴史研究の一助とする。			主たる内容	発掘調査で検出した遺構や遺物に関する図版作成と報告書の印刷を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	文化財保護法						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成27年度～平成30年度			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・平成9・10年度調査分図版作成 ・平成9年度調査分報告書印刷		・平成11年度調査分図版作成 ・平成10年度調査分報告書印刷		・平成12年度調査分図版作成 ・平成11年度調査分報告書印刷		・平成12年度調査分報告書印刷	
成果		平成11年度調査分の報告書を作成した。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		報告書刊行数（冊）			1	1	1	1	—
成果指標		報告書頒布部数（冊）			0	24	30	30	—
他市との比較検証		安城市と豊田市では、発掘調査後数年の内に報告書を刊行している。 ・安城市の平成29年度報告書刊行数2冊 ・豊田市の平成29年度報告書刊行数4冊							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		6,653	4,284	4,285	1,100	合計	4,285,440 円	
	財源	特定財源	0	24	69	321	需用費	937,440 円	
		一般財源	6,653	4,260	4,216	779	委託料	3,348,000 円	
	職員人件費 ②		2,350	3,126	3,102	3,120			
	総事業費（①+②）		9,003	7,410	7,387	4,220			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費			0	雑入					
31年度以降の事業費見込			0						

会計名 一般会計			施設補修事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
10	6	6					担当係	文化財係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	歴史・文化財						
		施策の内容	文化財の保護・伝承・活用						
	目的	国の登録文化財である刈谷市郷土資料館の適正な維持管理を行い、施設の環境を最適に保つ。			主たる内容	○剥落及びひび割れの見られた外壁を修繕を実施した。 ○雨漏りに備えエキスパンションの修繕を実施した。			
	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
	位置づけ	根拠法令	文化財保護法						
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		_____		・建物1階床下の白蟻駆除を行った。		・外壁の修繕を行った。 ・エキスパンションの修繕を行った。		_____	
成果		・床下大引の取替え及び壁のベニア等の張替えを行い、被害を最小限にとどめることが出来た。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
活動指標		修繕件数（件）	0	1	2	30年度	32年度	—	—
他市との比較検証	他市には類似事例がないため比較検証が困難である。								
C 事業コスト	単位：千円	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①	0	276	1,188	0	合計	1,188,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,188,000 円	
		一般財源	0	276	1,188	0			
	職員人件費 ②	0	0	78	0				
	総事業費（①+②）	0	276	1,266	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			観光用倉庫管理事業				担当部	市民活動部
一般会計							担当課	文化観光課
款	項	目					担当係	観光係
7	1	2						
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	産業振興					
		基本施策	観光					
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信					
	目的	万燈、山車などを収納する観光用倉庫を適切に管理することで、伝統行事の継承、発展を目指す。		主たる内容	倉庫管理に必要な名鉄高架下倉庫の借地料、火災保険料及び電気料を支払う。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画					
		根拠法令						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
	BDO 事業実績 実施V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画
		<ul style="list-style-type: none"> 土地借上げ料 火災保険料 電気料 		<ul style="list-style-type: none"> 土地借上げ料 火災保険料 電気料 		<ul style="list-style-type: none"> 土地借上げ料 火災保険料 電気料 		※観光施設等管理事業に移行
成果		・観光用倉庫を適切に管理することができた。						
課題		・倉庫の老朽化が進行しているため、修繕等の必要な対応を行い、適切に管理を行う必要がある。						
指標名称（単位）			実績値			目標値		
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
指標								
指標								
他市との比較検証	祭事道具の所有権、大きさの違いなどから他市と単純に比較することは難しい。							
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,695	1,789	1,678	0	合計 1,677,747 円	
	財源	特定財源	279	351	279	0	需用費 38,478 円	
		一般財源	1,416	1,438	1,399	0	役務費 27,365 円	
	職員人件費 ②		783	782	124	0	使用料及び賃借料 1,611,904 円	
	総事業費（①+②）		2,478	2,571	1,802	0		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称		
29年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料 鉄道高架下倉庫等賃貸料				
31年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			わんさか祭り花火打ち上げ事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	文化観光課	
7	1	2					担当係	観光係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	わんさか祭り花火大会において、市内企業及び市民などからの協賛金に合わせ、本市も花火の打ち上げを行うことにより、花火大会の魅力向上させ、市民へ娯楽を提供するとともに、観光の振興を目指す。	主たる内容	メロディ花火を中心とした花火を打ち上げる。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・わんさか祭り花火大会 市制65周年仕掛文字花火 開催日：8月15日 発数：約7,000発（全体）		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月20日 発数：約7,000発（全体）		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月19日 発数：約7,000発（全体）		・わんさか祭り花火大会 開催日：8月18日 発数：約7,000発（全体）	
成果		・同規模の近隣市町村と比較しても誇ることのできる花火大会となっている。 ・市内で開催されるイベントで最も集客力を持つイベントとなっている。							
課題		・大勢の観客が来場することから、会場周辺での交通渋滞や迷惑駐車が大きな問題となっている。 ・限られた会場内に来場者が集中してしまう。							
O 実施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度
	成果指標	来場者数（人）			153,000	153,000	156,000	156,000	156,000
他市との比較検証	近隣では、岡崎市、豊田市、碧南市（半田市と共催）、西尾市、みよし市等で花火大会が開催されている。								
C 事業 コスト V	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		12,000	10,000	10,000	10,000	合計	10,000,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	10,000,000 円	
		一般財源	12,000	10,000	10,000	10,000			
	職員人件費 ②		1,567	1,563	1,551	1,560			
	総事業費（①+②）		13,567	11,563	11,551	11,560			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			広域観光推進事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	西三河9市1町の自治体が共同で構築した観光情報システムにより、個人旅行に合わせた観光客の自由な周遊計画の作成支援及び地域の埋もれた魅力の発信を行うとともに、観光情報発信力の強化及び観光客の利便性を向上させ、刈谷市の観光の活性化を目指す。	主たる内容	・観光情報発信システム「西三河ぐるっとナビ」での情報発信及び保守・管理を行う。 ・観光PRイベントの計画・実施を行う。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	西三河広域観光推進協議会規約						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成27年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の開設		・西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実		・西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実 ・西三河9市1町の自治体が連携したイベントの実施		・西三河広域観光推進協議会サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実 ・西三河9市1町の自治体が連携したイベントの実施 ・スタンプラリーの実施	
成果		・西三河広域観光推進協議会公式サイト「西三河ぐるっとナビ」の運営及び充実に取り組み、個人旅行者の増加に伴うより自由な観光ルートや地域でのふれあいの発信など、さまざまな観光資源をつなぐ、きめ細かな情報発信を行った。							
課題		・情報発信サイトのより一層のPRを行い、認知度の向上及び利用促進に取り組む必要がある。 ・毎年新しい企画を立案するとともに、継続して情報発信等に取り組むため、各市町が単独で取り組んでいた既存の手法との整理・統合が必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
成果指標		ホームページアクセス数（件）		—	239,614	314,760	390,000	390,000	
指標									
他市との比較検証		近隣市町で共同で実施する事業であるため、他市と比較できない。							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		709	200	353	419	合計		353,426 円
	財源	特定財源	224	0	0	0	負担金、補助及び交付金		353,426 円
		一般財源	485	200	353	419			
	職員人件費 ②		1,175	782	969	975			
	総事業費（①+②）		1,884	982	1,322	1,394			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			仮設刈谷駅前観光案内所移設事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	文化観光課	
款	項	目					担当係	観光係	
7	1	2							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	産業振興						
		基本施策	観光						
		施策の内容	「ふるさと刈谷」の魅力向上と発信						
	目的	刈谷駅北地区整備事業の推進に伴い、刈谷駅前観光案内所が設置されている刈谷駅北口広場が使用できなくなるため、産業振興センター1階に移設し、サービスの提供及び観光情報の発信を継続するための環境整備を行う。	主たる内容	○産業振興センター1階の改修工事を行う。 ○コムス設置のため、産業振興センター外構に充電コンセントを設置する。 ○産業振興センター内の案内表示を修正する。 ○刈谷駅周辺に観光案内所案内看板を設置する。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市観光推進基本計画						
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成29年度～平成29年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	D 実績	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		――		――		<ul style="list-style-type: none"> 産業振興センター1階の改修 コムス充電コンセントの設置 刈谷駅周辺観光案内所案内看板の設置 産業振興センター内案内表示の修正 		――	
成果		・観光案内所を継続して運営することで、開所より蓄積してきたノウハウの喪失を回避するとともに、観光客やビジネス客等に対するサービスの提供や観光情報の発信を継続することができた。							
課題		・移設前と比較して刈谷駅から遠くなったため、観光案内所の周知を継続して行い、認知度向上に努める必要がある。 ・産業振興センター内に移設したため、移設後の客層に合わせたサービス提供を行う必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標	刈谷駅前観光案内所移設進捗率（％）		―	―	100.0	―	―		
活動指標									
他市との比較検証	刈谷駅北口における独自の状況に基づく移設であるため比較できない。								
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	6,612	0	合計	6,611,760 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	10,800 円	
		一般財源	0	0	6,612	0	委託料	174,960 円	
	職員人件費 ②		0	0	1,008	0	工事請負費	6,426,000 円	
	総事業費（①+②）		0	0	7,620	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							